

株式会社ハセガワエスティ

ウエディングを知りつくした「ムニールコンセユ」がトータルプロデュース

# 唯一無二! 世界の玄関 東京国際空港で人生のスタート

SKY WEDDING HANEDA

世界の玄関「東京国際空港」。2020年東京五輪開催を前に世界に響く空港を目指して、設備や飲食・物販の見直し、ロボットの導入など急ピッチで進められている。と同時に、年間1万8000組の婚礼司会を手掛ける(株)ハセガワエスティは、全世界で唯一、他にはない空港内のウエディングを行なっている。永遠になくなることはない空港、空港とともに成長する新郎新婦とその家族のためにも、質にこだわり、婚礼司会の現場を踏んできたからこそできるプロフェッショナルなスタイルを作り上げた。



株式会社ハセガワエスティ  
東京都渋谷区東 2-6-16 5.T. フォレスト 1F  
TEL:03-5766-9066  
URL: <http://hasegawa-st.com>

「ムニールコンセユ」世界に羽ばたく

ハセガワエスティは婚礼司会専門の集団として20年前にスタートした。当時ホテルや専門式場の司会と言えば、パターン化された決まり台詞の婚礼司会だったが、ハセガワエスティでは、新郎新婦、家族、列席者に寄り添ったアドリブをきかせた婚礼司会を先駆けて展開。レストランやゲストハウスなど自由なウエディングスタイルが注目される中、アットホームな感覚の司会は時流をつかんだ。以来、ラグジュアリーホテルも含め、年間1万8000組、専属司会者300人の規模に飛躍した。

婚礼司会を展開する中でより質の高

い結婚式を目指し、13年前より音響や照明、映像まで結婚式当日にかかわる事業にも着手。同時に婚礼司会者も司会だけではなく結婚式のプロデュースまで行なえる人材を育成。起業当初から提唱してきた「ムニールコンセユ」(司会+プロデュース)が今、世界の玄関「東京国際空港」にて展開している。ターゲットを明確にし、来るべき人の心に響かせるPR、真摯に向き合い心をつかんだ施設案内などにより新規成約率60%~70%の実績を挙げている。ターゲットの明確にするという点で、スタッフのブログにも一工夫が施されている。

『羽田空港ウエディングのお客様つ

て?』というタイトルで、「スカイウエディング羽田のお客様には、ある傾向があります。一つに、飛行機が好きである。お客さまを驚かせようとしている。お客さまの記憶に残る披露宴を真剣に考えている。来ていただいたからには、とことん楽しんでもらいたい、と思っている。結婚式に出席した経験が2回以上ある、あるいは、結構ある」と記載されている。新郎や新婦のタイ

プなども記載されているなど、婚礼司会の現場を踏み、多くのカップルたちと親身になって打ち合わせを重ねてきたからこそ、心を動かすメッセージを時流の変化に対応しながら的確に送ることができるわけだ。

**2003年、無借金経営、上場せずを決意**

結婚式の実績においても件数よりも

徹底的に質のこだわり、薄利でも新郎新婦の新たな門出、世界の玄関として改革を進めている空港のために尽くしている。初年度は先行投資に力を入れ2年目以降は人気と実績を確立する。無借金経営を続けてきた資金力があるからこそ、懐大きく、じっくりと構えた運営を実現しているわけだ。

「2003年に無借金経営、株式上場はし



ないことを決めました。求められていることを実直に、自分たちがすべきことをやり続けるためには、自力で周囲に左右されない経営をしていくべきと判断したからです」(阿久津五代子社長)。

当時はウエディング企業の上場が盛んだったこともあり、上場を勧める誘いを何度となく受けたという。ゲスト

ハウスも全盛期の時代、全国各地でオープンが続いた。婚礼衣裳業や写真スタジオなどもゲストハウス経営を始めた。異業種からの参入も相次いだ。ウエディングは施設を建てれば儲かるというムードが全国的に広がったからだ。

確かに当時はそれで良かった。ところが時代は変わり、供給過多とともに結婚式そのものに対する変化の中、も

はや求められないものとなってしまったのだ。

「求められなければ生き残ることはできません。儲かるために始めるのではなく、求められ続けるためには何をすべきかを常に考えています。保育園を開園したこともスタッフがいつまでも生き生きと働ける環境を整えるため、化粧品の輸入や美容サロンの運営もス

タッフがいつまでも若々しくステキでいるため、音響も照明も映像もしっかりで、お客さまの心にいつまでも残り、



響き続け、映像として生き続けていくためなのです」(阿久津社長)。

空港は、存在し続ける場所。息長く、ともに生きていくために、厳しい規制の中、最大限のウエディングをどのように提供していくのかを追求している。滑走路が見え、行き来する航空機が見えるロケーションは、世界のどこにもない。まさに新たな旅立ちには絶好

の場所であり、今後は日本人に限らず世界各国からほかにない、ユニークベニューとしてのウエディングステージとして大いに期待が持てる。

**求められる質の高い結婚式を提供し続ける**

「司会、音響、照明、演出までウエディ



ングにかかわるサポート事業はすべてできるようになりました。すべてが一体化することで質の高い披露宴を企画し、ご提供することができます。もちろん、皆さんプロフェッショナルですから、各分野の領域で同じ会社ではなくとも作り上げることができますが、より完成度の高い結婚式をご提供するためには、目指す方向を見すえ、新郎新婦にかかわる情報や披露宴の流れが共有された阿吽の進行がとても大切なことだと考えます。求められる結婚式は永遠に不滅であり、結婚式を通してかかわる施設の企業価値を高めていくことも、私どもの使命とし日々取り組んでいます」(長谷川高士会長)。

結婚式にかかわる事業以外に「南青

山たんぼぼ保育所」の経営やFM ラジオ FUJI にて毎週日曜日の 19 時～ 30 分の「OFUKU LIFE」を ON AIR。長谷川高士会長の別キャラクター・オフクと司会者たちがメインパーソナリティーとなり番組を構成。昨年はカンヌ国際映画祭ショートプログラムの作品にて入選、今年もカンヌに挑戦し、2 作目の収録も終えた。出演者はもちろん、ハセガワエステのスタッフ。収録もすべて自分たちで行なっている。OFUKU の写真集も出版、ロンドンの書店やホテルにて並べられている。ロンドンにも現地法人を構え、日本文化を発信する店舗を運営するなど、多彩な事業を手掛けている。

「ハセガワエステってどんな会社？

と思われる方もいらっしゃると思いますが、お客さまにもスタッフにも、常に喜ばれること、楽しいことを提供できる会社です。ハセガワエステに頼めば何でもやってくれる、そんな存在になりたいと思います」(阿久津社長)。

「先代から引き継いだ大型家具店では大きな借金を抱えていましたが、負けませんでした。どんなときも自分たち以上に大変な人たちはいる、その人たちにも、自分にも勇気と元気を提供するためにも、本質は崩すことなく求められていることを提供し続けていくこと。それがハセガワエステがハセガワエステとして永遠に生きていく源なのです」(長谷川会長)。



## 国際的なウエディングに対応する『スペシャルウエディングチーム』結成

—ロイヤルウエディングなど手つかずの市場開拓に挑戦—

### 世界に精通したネットワーク生かす

ハセガワエステは新たな取り組みとして国際的なウエディングに対応する『スペシャルウエディングチーム』を結成。結婚式のグローバル化の流れをいち早くつかみ、海外の王室や富裕層などこれまで手つかずの市場掘り起こしを行なっていく。外国人に限らず、日本人の海外ウエディングなどのプロデュースにも対応する。

チームは阿久津五代子社長を指揮者の役目であるプロデューサーとし、司会は長谷川高士会長、別紙参照アラブ首長国連邦(ドバイ)3人、現地法人を持つイギリス(ロンドン)2人、フランス3人、アメリカ2人、シンガポール2人、中国2人の現地スタッフも含め、ワールドワイドなフィールドで実践していく。

「アラブなど、日本で結婚式を挙げたいという王室や富裕層はいるのですが、受け入れ体制が整っていないため、欧米で結婚式を挙げているという話を聞き、当社が築いてきた人脈やネットワークを通して、国際的に通用するウエディングを手掛けてみては、ということからスペシャルチームを結成しました」(長谷川高士会長)。

「各国が求めている結婚式のスタイルや宗教上のことなどを現地スタッフとコーディネートすることができます。課題や要望をクリアにすることで、世界のウエディングを受注することができる」と判断しました」(阿久津五代子社長)。

日本人が海外で挙式、パーティを行なう際も、現地スタッフがすべて対応

する。和装を着用した日本風や現地に残る民族結婚式、受け継がれている地元ならではの結婚式スタイルなども実現可能だ。料理も希望に添ったアレンジができるなど、言葉の障害を越えて日本ではできない海外でのウエディングを実現することができる。単なる海外ウエディングに終わらない、より思い出深いときを刻むことができる。

### クッションオーガナイザーの確立

加えて、世界ナンバーワンの空港を目指す東京国際空港内のバンケット運営の活性化と、日本の玄関である空港でほかにはない結婚式を提供することで、空港そのもののブランドアップにもつなげていく。会場は空港に限らず国内のホテルやさまざまな施設を対象に、要望に応じた結婚式をハセガワエステグループの総合力で作りに上げて

いく。音響、照明、司会など、結婚式に必要なプロ集団をまとめていく阿久津五代子社長の指揮力、プロデュース力なくしてできないことでもある。

「ふか的に全体をとらえ各パーツを融合させて最高のステージを作り上げていきます。今後はホテルや式場において、それぞれがかかわるパートナー企業と会場を結ぶクッションオーガナイザーとして、ウエディングに限らずさまざまなパーティやイベントのプロデュースを目指していきます」(阿久津社長)。

「国境を超えたライブ司会者としてさまざまな結婚式や新商品発表などの企業イベントや、インセンティブパーティなどに、ウエディングスペシャルチームで挑戦していきます」(長谷川会長)。

